

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひろまなコグ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月17日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	令和6年12月17日 ～ 令和6年12月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LINEでの活動の報告を行うことによって、療育の内容を保護者の方に知ってもらっている。	個々に合わせた課題に取り組んだ様子をメッセージとしてLINEで報告させていただくことで、取り組んだことをご家庭で褒めていただき自己肯定感を高めることやご家庭での会話の一つのきっかけになるように心がけている。	一部、メッセージが見えにくいことがあったことや保護者の方からの相談の内容を送ってもいいのかというご意見があったので、内容の改善とお気軽に相談いただけることの周知を取り組んでいく。
2	共通のプログラムを繰り返すのではなく、個々に合わせた課題設定をしているので、本人が必要な力をつけるための療育プログラムの提供に取り組んでいる。	本人の状況の把握や標準化された検査からのアセスメントを実施して、目標の設定を行うようにしている。また、保護者の方と目標の設定を確認している。	本人と目標の確認をすることや一緒に目標を立てる機会を増やす。
3	就学に向けての困り感を減らせるようにベースの力をつけられるように取り組んでいる。	保育園等での様子の聞き取りから困っていることにアプローチする課題設定や本人の興味関心以外の内容を提示することで視野を広げたり会話のバリエーションを増やせるように取り組んでいる。	対人や集団の場で発揮できるようにその前段階の場をイメージして提供することを目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での送迎を行っていないこと。	保護者の方に送迎をお願いしているので、送り迎えの時間に駐車場の停めにくさがある。	駐車場の利用の仕方などの案内を作成して配布するようにする。
2	1コマ1～3人の利用のため関わる人数が少ない。	個々の課題にアプローチするために少人数での療育のためにコマ割りをしているため。	通常の療育とは別のプログラムを定期的に企画し、普段会わない同世代とも交流できる場を提供する。
3	保護者同士の交流の場の提供がない。	同じ時間にご利用いただいている保護者同士しか会う機会がない。	保護者の方も参加できる企画の実施を検討する。